

水稲用 初・中期一発処理除草剤

ラオウ®

フロアブル

水田除草の 勝者と 成る。

ノビエ

ホタルイ

オモダカ



エフィーダ
(茎葉白化作用)



フェノキサスルホン
(ノビエ残効性)



ベンスルフロンメチル
(幅広い草種に対応)



ダイムロン
(カヤツリグサ科の発芽抑制)

4成分で除草を制す。



- 有効成分：ダイムロン……………11.3%
フェニキサスルホン……………2.8%
フェンキノトリオン……………4.7%
ベンスルフロンメチル……………1.4%
- 人畜毒性：普通物（毒劇物に該当しないものを指すという通称）

- 有効成分「エフィーダ®（一般名：フェンキノトリオン）」を配合した4成分の混合剤です。
- エフィーダ配合により水稲安全性が高く、広葉雑草に幅広く効果を示し、特にホタルイなどのカヤツリグサ科雑草に高い効果を発揮します。
- ベンスルフロンメチル配合により多年生雑防除雑草に高い効果を示します。
- フェノキサスルホン配合によりノビエに優れた除草効果と長期残効性を示します。

適用雑草及び使用方法

2021年12月22日現在の登録内容

*各有効成分を含む農薬の総使用回数：ダイムロン3回以内（移植水稲：育苗箱散布は1回以内、本田では2回以内）・2回以内（直播水稲）、フェノキサスルホン2回以内、フェンキノトリオン2回以内、ベンスルフロンメチル2回以内

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草及びマツバイ ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ ヒルムシロ、セリ、オモダカ クログワイ、コウキヤガラ	移植時	500ml	1回※	田植同時散布機で施用
		移植直後～ノビエ2.5葉期 但し、移植後30日まで			原液湛水散布又は水口施用
直播水稲	一年生雑草及びマツバイ ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ノビエ2.5葉期 但し、収穫90日前まで			原液湛水散布



使用上の注意

- 本剤の使用に当たっては、使用前に容器をよく振ってください。
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに、時期を失ないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれかえるので、必ず適期に散布してください。ホタルイ、ウリカワは2葉期まで、ミズガヤツリは草丈10cmまで、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生始まって、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生期までが本剤の散布適期です。
- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生期間が長く、遅い発生ものまで十分な効果を示さないのので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
- 苗の植付けが均一となるように、代かき及び植付作業は丁寧に行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特に丁寧に行ってください。
- 原液湛水散布の場合は、水の出入りを止めて湛水状態（水深3～5cm）のまま水田全面にゆきわたるように散布してください。散布後3～4日間は通常の湛水状態（水深3～5cm）を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。
- 水口施用の場合は、あらかじめ1～2cm程度水深を確保した状態で、入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させ、施用後田面水が通常の湛水状態（水深3～5cm）に達した時に必ず水を止め、田面水があふれ出ないように注意してください。散布後少なくとも3～4日間は通常の湛水状態（水深3～5cm）を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 葉類・表層はく離などの水面浮遊物が多い場合は、拡散が不十分になるおそれがあるため、周縁散布又は水口施用をさせ、本田内で水田全面に散布してください。
- 以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。

- 異常高温の時、あるいは散布後数日以内に梅雨明けになるなど異常高温が予想される時
- 活着遅延を生じようとする異常低温の時
- 砂質土壌の水田および漏水田（減水深2cm/日以上）
- 軟弱苗を移植した水田
- 極端な浅植えの水田および浮き苗の多い水田
- 種穴の戻りの悪い水田
- 直播水稲に使用する場合、以下の点に注意してください。
- 稲の根が露出した条件では薬害を生じるおそれがあるので使用をさけてください。
- 除草効果の低下と生育抑制の薬害が発生するおそれがあるので、入水後持ちの安定した後に散布してください。
- 梅雨時期等、散布後に多量の降雨が予想される場合は、除草効果が低下するおそれがあるので使用をさけてください。
- 無人航空機で原液湛水散布する際は以下に注意してください。
- 原液湛水散布は使用機種の使用基準に従って実施してください。
- 原液湛水散布に当っては噴霧ノズルは使用しないでください。
- 作業中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
- 散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないように風の影響等を十分考慮して原液湛水散布してください。
- 水源池、飲料用水などに飛散、流入しないように十分注意してください。
- 薬剤散布に使用した装置は十分洗浄し、薬剤タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。
- 散布に使用した無人航空機の散布装置は、水稲以外の作物への薬剤散布には使用しないでください。
- 散布した水田の田面水を他の作物の灌水に使用しないでください。
- 本剤はその殺草特性から、いくぞ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育前に隣接田で

使用する場合は十分に注意してください。
●虫に対して影響があるので、周辺の農薬にはかからないようにしてください。
●本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考に使用してください。特に初めて使用する場合は異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。

安全使用上の注意

- 散布の際は農業用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣等を着用してください。作業後は手足、顔等を石けんでよく洗い、うがいをして衣服を換えてください。
 - 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
 - かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
 - 水産動植物（藻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 保管：密栓し、直射日光を避け、食品と区別して、冷凍乾燥した場所に保管してください。

詳しい使い方、登録内容は
こちらから。

フロアブル



●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●防除日誌を記載しましょう。

本資料は2021年12月22日現在の知見に基づき作成しています。 2159(22-12)